

イスラエル・パレスチナ武装勢力間の衝突に対する知事コメント

愛知県は、昭和 38（1963）年 9 月 30 日、愛知県議会において「平和県宣言」を行い、全世界の人々と手を携えて人類永遠の平和と幸福実現のために努力する平和県であることを宣言し、以降、そうした理念の下で行政運営を行っている。

10 月 7 日、ハマスを含むパレスチナ武装勢力が、ガザ地区からイスラエルに向けて多数のロケット弾を発射し、イスラエル領内に攻撃を行い、多数の死傷者が発生した。罪のない一般市民に多大な被害が出ており、本県としては、この攻撃を強く非難する。

一方、イスラエル国防軍の攻撃によりガザ地区において多数の死傷者が出ていることを深く憂慮する。

本県としては、日本国政府と同様、これ以上の被害が生じないよう全ての当事者に最大限の自制を求める。

政府には、引き続き、在留邦人の安全確保に万全を期するとともにイスラエル、パレスチナ双方への働きかけを強化し、国際社会とも連携しつつ、事態の早期沈静化を図るよう期待する。

この度の犠牲者の御遺族に対し哀悼の意を表し、負傷者の方々に心からお見舞い申し上げますとともに、本県としては、一刻も早く平和的解決が図られることを望む。

2023 年 10 月 16 日

愛知県知事 大村秀章